

9月議会では、市民皆様の生活に関わる、特に大きな2つの案件を決議しました。

表紙上半分は、「暴力団追放に関する決議」、下半分は、「新型コロナウイルス感染症に対して全ての市民が一丸となって乗り越えていくための決議」の写真です。

議会では様々な案件を審議していますが、この2つの決議は全会一致で可決され、安全安心に暮らせるまち、富士宮を象徴するものとなりました。以下に、両決議の趣旨を掲載します。

暴力団追放に関する決議(抜粋)

私たちは、法と正義に貫かれた社会体制の下で、身体・生命・財産の安全と平穏な社会生活の実現を念願し、この願いを脅かす暴力団の追放を決意し、これまで暴力団追放等の決議を行うなど、警察等関係諸団体とともに積極的に暴力団追放活動を進めてきた。しかし、指定暴力団山口組の2次団体である良知2代目政竜会が市内に事務所を構え、活動を開始しており、地元住民をはじめ市民は、大きな不安と恐怖を感じている。このことは、健全な社会経済活動をも脅かすものである。よって、新たに「暴力団事務所の撤退と暴力団追放をめざす」という強い決意をもって、市民や関係諸団体とともに連携・協力し、明るく住みよい郷土の実現に向けて邁進することを決議する。

新型コロナウイルス感染症に対して全ての市民が一丸となって乗り越えていくための決議(抜粋)

- 1 新型コロナウイルス感染症の感染者、濃厚接触者や家族などに対する不当な差別、偏見、誹謗中傷やこれらを誘発する言動は絶対に行わない。
- 2 こまめな手洗い・手指消毒や3つの密を避けるなどの「新しい生活様式」を徹底し、感染拡大防止に努める。
- 3 医療・介護・福祉など、感染のリスクが高い現場で仕事に従事する方々やその家族に敬意を払い、感謝の気持ちを忘れない。
- 4 将来の富士宮市を担う全ての子どもたちが、いかなる状況においても最適な学習を受け、心に残る学校生活を送ることができるようにする。
- 5 新型コロナウイルス感染症に対して、正しい理解と思いやりの心を持ち、市民一丸となって乗り越える。

詳細は右QRコードから
ご参照ください。



編集後記

本号は新型コロナウイルス感染症対策、決算審査特別委員会の報告、補正予算の結果を市民の皆様に分かりやすく伝達できるよう努力しました。

また、2月定例会の予定を初めてカレンダー型で作成しました。今後も分かりやすく、見やすい議会だよりの作成を心掛けていきます。

議会だよりの編集委員会副委員長 細沢 覚

昨年9月号から始まった「市民の声」のコーナーは、コロナ禍で今は自粛という形になってしまい残念でなりません。

新型コロナウイルス感染症終息後、ふたたび皆様のお声を聴ける日がくることを楽しみにしております。

また、市民の皆様がコロナに負けず、ますます元気で過ごされるよう心からお祈り申し上げます。

議会だよりの編集委員会 近藤 千鶴